

BSOの 情報てんこもり

2014年 7月11日号

制作・発行：(株)BSO 支援企画部

TEL：(06)6351-5836

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆世界の流れに乗り自分を活かす

先日の中韓首脳会談は世界の枠組みが大きく変わるか否かの話になります。いずれにしても、世界の混乱はますますひどくなり、混乱・葛藤の世紀はその度合いを強めていくことになります。我々は、その中で生きており、一人ひとりの生活に、ますますその影響は強まってきています。受け身で生きていくことは破滅に繋がらないまでも、自分を殺していかざるを得ません。世界の変化の流れに乗った生き方が、これからの生き方になるでしょう。流れに乗るためには、流れを知らなければならぬし、予測をしなければなりません。その中で自分をどのように活かすかを工夫することが重要になります。先日あるテレビ番組で現代の人材は就社型から就職型に変わりつつあるという話がありました。就給型については全く出なかったのが不思議でしたが、就職型や就給型の人材には、プロデューサーとなる人が不可欠です。プロデューサーがいなければ就職型就給型の人材は時代の流れに乗れず、存在すら出来なくなります。プロデューサーは組織体との関係で役割を果たします。独立した存在では役割を果たすことはできません。すなわち、就社型のプロデューサーがいなければ、脱落する就職型就給型の人材が多数出てきます。しかし、プロデューサーは就職型就給型の人材からは時として「招かれざる客」になることがあるのです。

◆市場と共存共栄する営業

継続取引している顕在個客のところに注文を貰いに行く営業を「御用聞き営業」といい、どれだけ行動できるかが問われます。同業他社が取引していたり注文がありそうな、いわゆる見かけの潜在個客への営業は、「セールスマン営業」といい、お客さんに必要ないと言われたらそのまま帰ってきてしまいます。確率的に捉えることができるかが問題です。お客さん自身も欲しいと気づいていない市場で買う気のない人を買う気にさせるといった仕掛けができ、真の潜在個客に営業し需要を創造する営業を「マーケッター」といいます。マーケッターはこれからの営業に必要不可欠であり、考働・企画の両方が必要となります。個人でできる人がいなければ組織でできるようにならなければいけません。これからの営業はいかにマーケッターを育てるかが課題となるでしょう。

◆喜多猿八うまいもん食らぶ

本物の美味しさが毎月届く、喜多猿八（本社：香川県）の「うまいもん食らぶ」。6月は「アムスメロン」、「ぶどう

（ハウスデラウェア）」が届きました。アムスメロンはよく食べられる代表的なメロンのひとつです。名前の由来は、交配した品種の生まれ故郷オランダの首都アムステルダムにちなんでいるそうです。全体にかかる網目が特徴ですが、細かい網目が全体に綺麗に現れている方が、香りや甘



味が強く美味しい傾向があります。デラウェアは、アメリカの

オハイオ州のデラウェアで発見され、ヨーロッパ系とアメリカ系の雑種といわれおり、日本で最も多く生産されているぶどうのひとつです。今回のデラウェアは、ハウス栽培のため露地栽培より早く収穫され、酸味が低いのが特長です。



◆仕事を面白くする

自分が担当したり指示された仕事は、基本的には面白くないことが多いです。自分が面白がって始めた仕事でさえ面白くなるのが少なくありません。仕事は面白くない限り面白くないのです。仕事の内容、仕事の仕方に面白くする工夫が必要です。また、仕事は単独で存在するのではなく、多くの関係者によって成り立っています。この関係者とのコミュニケーションの仕方によって面白くなったり面白くなくなったりもします。これらの工夫は、そんなに難しいことでもなければ高度な能力がいるというわけでもありません。ちょっとした視点の違いが殆どなのです。先日、鹿児島島の食事処に連れて行ってもらいました。一人7000円ほどで決して安くはない店です。閑古鳥が鳴いている店が多いこの時勢に、この店は満員で予約なしでは滅多に入れないそうです。さらに驚いたことは土産を持って来るお客さんがちょこちょこいることです。これには参りました。この食事処は、100人ほどお客さんが入る程の規模ですが、全スタッフのひとり一人のお客さんへの接し方が違うのです。きっと、仕事が面白いと感じているのだと思います。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々にご提供いただく為に発信しております。（お問い合わせは shienkikaku@bso.co.jp まで）

